

### <対策のポイント>

内水面漁業・養殖業の振興のため、**内水面漁場を有効かつ効果的に活用する体制の検討**と、ウナギ等の内水面資源の回復と適切な管理体制の構築を推進します。

### <政策目標>

主な栽培対象魚種及び養殖業等の生産量の増加 (1,739千トン [令和4年度まで])

## <事業の内容>

### 1. やるぞ内水面漁業活性化事業

- 広域的な内水面漁場管理や内水面漁業活性化の方策を総合的に検討するとともに、**内水面漁場管理のモデルとなる先進的な取組**を支援します。

### 2. 内水面水産資源被害対策事業

- 内水面漁業者が行う**カワウ・外来魚駆除活動**及び**地域の中核となってカワウ駆除を指導、実施する者の技能習得等**を支援します。また、**ドローン等を活用した低コスト・効率的な内水面水産資源被害防止のための技術開発を推進**するとともに、**在来種であるカワウを一定の個体数以下に維持する管理手法を開発し、漁業との共存を図るための対策の検討**を実施します。

### 3. ウナギ等資源回復推進事業

- 持続可能な鰻養殖を推進するため、養鰻業者等が行う**資源管理のための取組**を支援します。
- 河川における資源回復を図るため、内水面漁業者が行う**生息環境改善の取組**を支援するとともに、**ウナギ種苗の商業化に向けた大量生産システムの実証**及び**資源回復に寄与する親ウナギの育成・放流手法の検討等**を実施します。
- **シラスウナギのトレーサビリティ手法の確立**を図ります。

## <事業イメージ>

### 1. 内水面漁場の効率的な管理手法確立と全国展開



実際の監視業務風景

6月21日九頭竜川 (勝山市漁協)監視画面

参考：ICTを活用した漁場監視の例

### 2. 内水面漁場の有効活用を阻害する要因の低減

カワウの駆除活動

ドローンによるカワウ対策技術開発

オオクチバスの駆除活動

一定の個体数以下に維持する管理手法の開発 (ハザードマップ作成)

### 3. ウナギ等内水面資源の緊急的な回復

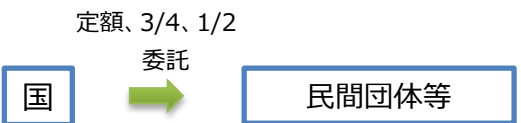
生息環境改善 (石倉増殖礁)

シラスウナギ人工種苗生産

親ウナギの育成・放流手法の検討

シラスウナギトレーサビリティ確立

### <事業の流れ>



内水面水産資源の回復・安定供給の実現

【お問い合わせ先】 水産庁栽培養殖課 (03-3502-8489)  
 水産庁研究指導課 (03-3502-0358)  
 ※ ウナギ種苗の商業化に向けた大量生産システムの実証のみ